

京都

※2026年春実施の全国公立高校入試情報は、2025年12月9日現在によるものです。

1. 日程

[前期選抜]

●学力検査等

2/16・17

(音楽科 2/7・8)

※追検査(募集定員の100%を募集する学科のみ)

2/19

(音楽科 2/15・19, 美術工芸科 2/18・19)

○合格発表

2/24

[中期選抜]

●学力検査

3/6

○合格発表

3/17

※追検査 3/10

2. 学力検査

[前期選抜の共通学力検査]

国・数・英=各50点

<150点満点>

○英語聞き取りあり。

[中期選抜]

国語:40分・40点

数学:40分・40点

英語:30分(筆記), 10分(聞き取り)・40点

理科:40分・40点

社会:40分・40点

<200点満点>

○英語聞き取りあり。

3. 調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階(絶対評価)

○2年…5段階(絶対評価)

○3年…5段階(絶対評価)

[調査書点の算出方法]

■前期選抜

9教科×5段階×3学年分=135点

<135点満点>

■中期選抜

実技重視(実技4教科を2倍する)

5教科×各教科5点×3学年分=75点

4教科×各教科5点×2倍×3学年分=120点

<75+120=195点満点>

※調査書の名称は「報告書」

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

ほぼ同等

[判定方法]

■前期選抜

A・B・Cの各方式に従って実施された検査と報告書を、各校が独自の配点比率で点数化して選抜する。また、複数の選抜方式・型で実施する場合で、合格者が定員に満たない場合は、欠員分を他の方式・型の募集人員に加えて選抜する。

■中期選抜

○第1次選考…報告書の評定点(a)と学力検査点(b)をそれぞれ高得点順に並べ、その順位が両方ともに募集定員内の者について、報告書の必修教科の評定以外の記載内容および面接の結果(実施した場合)を資料として総合的に判断して、合格者を決定する。

○第2次選考…1次選考で合格とならなかった者から、aとbの合計を高得点順に並べ、報告書の記載内容と学力検査の成績、面接の結果(実施した場合)を資料として総合的に判断して、合格者を決定する。

※第1志望の各順位、第2志望については「備考」参照。

5. 推薦入学等

■前期選抜

すべての高校(学科)で実施。

1つの高校の1つの学科、系統を選んで志願する。

高校が求める場合、活動実績報告書を提出。普通科スポーツ総合専攻とスポーツ健康科学科の志願者は、活動実績報告書【運動実績の記録】を提出。

[検査内容]

以下の3つの方々から各高校が定めて実施する。

○A方式=共通学力検査(国・数・英)または高校独自の学力検査の中から合わせて5教科以内、面接と作文(小論文)の1つか両方、《活動実績報告書》

高校によっては、異なる検査内容を定めて、1型・2型に分ける場合がある。

○B方式=面接・作文(小論文)の1つまたは両方、活動実績報告書

○C方式=共通学力検査(国・数・英)または高校独自の学力検査の中から合わせて5教科以内、面接と作文(小論文)の1つか両方、実技検査、《活動実績報告書》

※高校(学科)によっては、上記のうち2つの方式からそれぞれ定員を分けて選択する場合もある。

[定員に対する比率]

○普通科…30%(城南菱創・北桑田・京都市立開建のルミノベーション科は50%、京都八幡は70%)

○農・工・商・情報・水産・福祉に関する学科…50~70%(令和8年度はすべて70%)

○普通科のスポーツ総合専攻と美術・工芸専攻、体育・音楽・美術に関する学科…100%

○その他の専門学科…70~100%

○総合学科・地域創生科…70%

■特別入学者選抜

※それぞれの選抜を志願する場合、当該選抜以外の特別入学者選抜・前期選抜を志願することはできない。

○海外勤務者帰国子女・中国帰国孤児子女

それぞれ実施高校が決まっている。募集人員は、各校5人以内。

[日程]

2/16

※海外勤務者帰国子女の追検査 2/19

[検査内容]

国・数・英(聞き取りあり)の学力検査、面接

○全国部活動特別入学者選抜

府外からの出願で、入学後、特定の部活動に加入。募集人員は各校若干名。

実施校：北桑田・須知・丹後綠風の網野学舎

活動実績報告書【運動実績の記録】を提出。

[日程]

2/16

※追検査 2/19

[検査内容]

国・数・英(聞き取りあり)の学力検査、面接、実技検査

6. 備考

※追検査

検査当日に、急病等やむを得ない理由により欠席・途中退場した受検者が対象。

■中期選抜

前期選抜で募集定員の100%を募集する学科と府立清明と京都市立京都奏和を除いて実施。

第2志望まで志願できる。第1志望に順位をつけて、異なる志願先を2校または2学科・系統等まで志願できる。

[中期選抜での志望順位の取り扱い]

- ①第1志望第1順位希望者の中から中期の募集人員の90%を選抜。
- ②残りの人員を第1志望第1順位と第1志望第2順位の希望者を合わせて選抜。第1順位・第2順位ともに合格圏内となる者は、第1順位で合格。判定は第2次選考の方法による。
- ③第1志望優先で合格者を決めた後、欠員がある場合は、第2志望で選抜する。判定は第2次選考の方法による。

■後期選抜

前期選抜・特別入学者選抜・中期選抜を実施したのち、欠員が生じた場合、高校と教育委員で協議して、実施するかどうかを決定する。